

平成19年度 決算報告

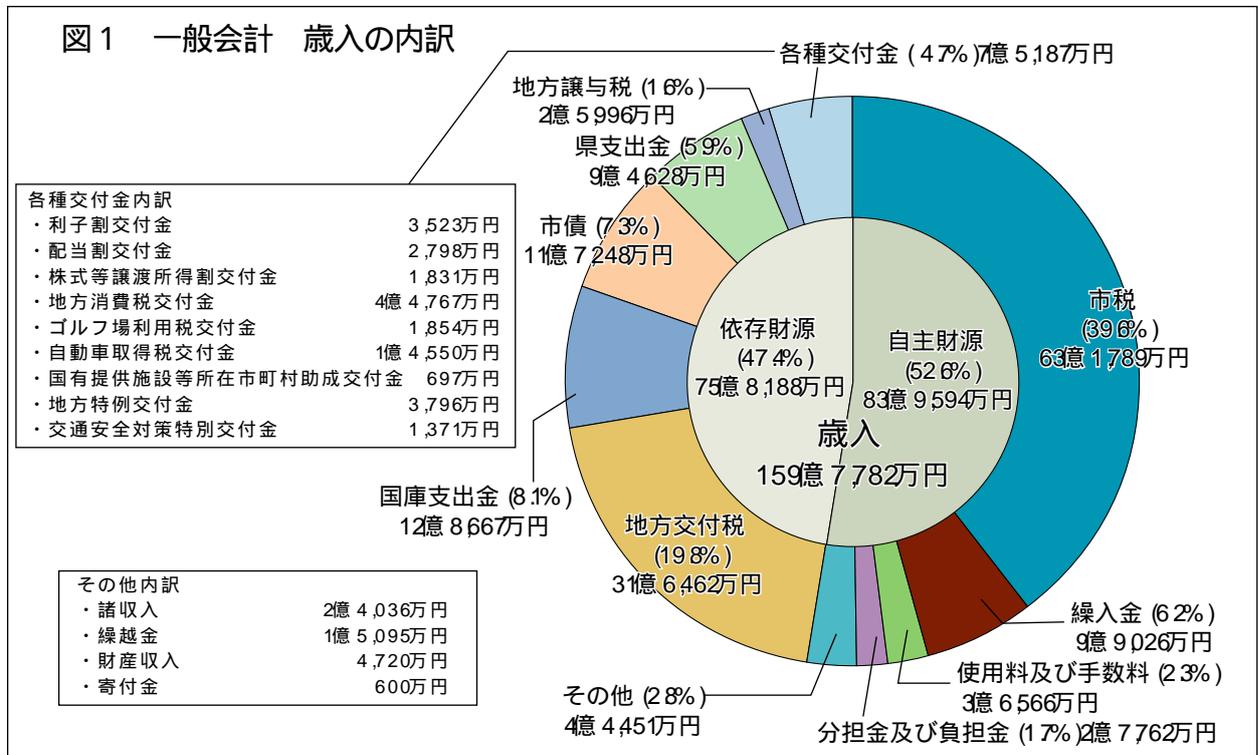
市の家計簿

平成19年度の一般会計および特別会計の決算が、平成20年9月市議会定例会において認定されました。

昨年度一年間におきまして、市民のみなさんから納めていただきました税金、そして国や県等からの補助金等がどのくらい入り、どのように使われたのか決算のあらましをお知らせします。

1 一般会計

1 歳入



歳入総額、5億5562万円増

本市における、平成19年度の歳入総額は、159億7782万円となり、前年度と比べ5億5562万円、36%の増となりました。

自主財源.....市が独自で調達するお金
【市税】みなさんが市に納めていただいたお金の内訳は右表のとおり
【繰入金】市の貯金である基金を取り崩したお金

依存財源.....国・県などの意思により交付されるお金
【地方交付税】国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
【市債】事業を行うために借り入れるお金
【地方譲与税】国税として徴収したお金を、国が一定の基準により、市に対して譲与するお金

市税の内訳

- ・ 市民税 32億481万円
(1人あたり約54,375円)
- ・ 固定資産税 25億9,003万円
(1人あたり約43,944円)
- ・ 軽自動車税 8,006万円
(1人あたり約1,358円)
- ・ 市たばこ税 4億4,299万円
(1人あたり約7,516円)

平成20年3月31日現在人口
58,939人

2 歳 出

図2 一般会計 歳出内訳（目的別）

その他の内訳	
・消防費	4億8,210万円
・農林水産業費	3億7,182万円
・議会費	2億562万円
・商工費	731万円
・災害復旧費	393万円
・労働費	153万円

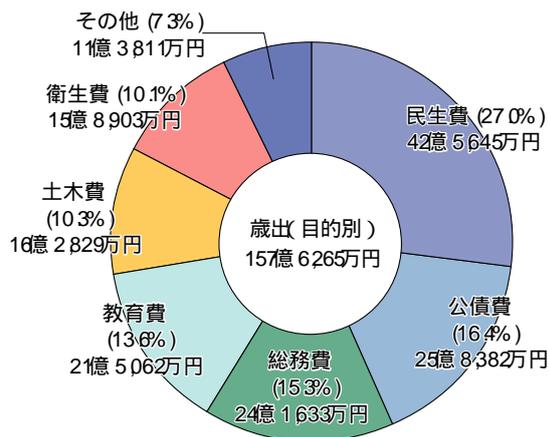
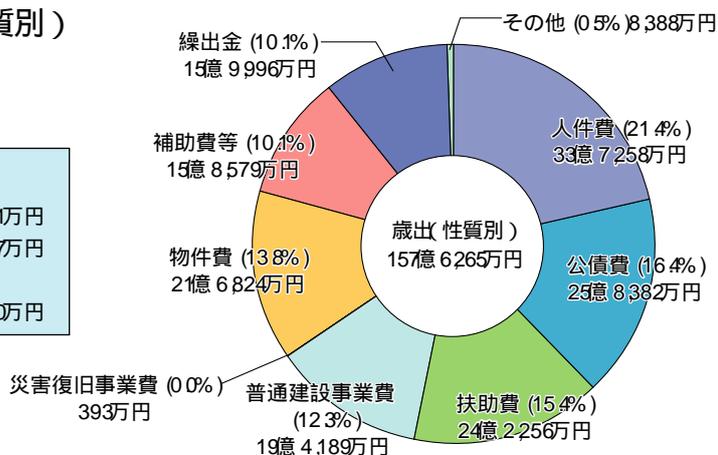


図3 一般会計 歳出内訳（性質別）

その他の内訳	
・維持補修費	7481万円
・積立金	797万円
・投資及び出資金貸付金	110万円



歳出総額、4億9,140万円増

平成19年度の歳出総額は、157億6,265万円となり、前年度と比べ4億9,140万円、3.2%の増となりました。

目的別

- 【民生費】福祉全般の事務・事業に使うお金
- 【公債費】借入れたお金を返済するためのお金
- 【土木費】都市基盤整備や道路、公園、河川等の維持管理・改良等に使うお金
- 【教育費】小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使うお金
- 【総務費】課税徴収、選挙等市の総括的な事務に使うお金
- 【衛生費】感染症予防、成人等保健、母子保健や環境保全、ゴミ処理等に使うお金

性質別

- 【人件費】職員や特別職の給与、議員及び各種委員会委員の報酬に使うお金
- 【扶助費】生活保護費、児童手当、医療費等に使うお金
- 【物件費】委託料、光熱水費、備品購入費等に使うお金
- 【補助費等】各事業や団体への補助金や負担金に使うお金
- 【普通建設事業費】道路・橋梁等の整備や公共施設の新設増改築等に使うお金

2 特別会計

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険事業特別会計	56億1,396万円	58億9,436万円
老人保健事業特別会計	51億4,247万円	52億1,315万円
介護保険事業特別会計（保険事業勘定）	27億9,002万円	26億1,074万円
介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）	2,036万円	1,941万円
下水道事業特別会計	20億5,230万円	20億5,128万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	958万円	96万円

3 平成19年度の主な事業

都市基盤の整備

都市計画街路事業

県道本郷・基山線

道路新設改良事業

西福童・二森32号線（端間自歩道橋）

二森・八坂34号線（味坂校区幹線）

小郡・西福童3081・3086号線

端間駅周辺地区計画道路

教育・文化の振興

立石小学校大規模改造事業（写真1）

三国中学校校舎増築事業

小学校・中学校 耐震診断事業

情報教育設備・機器整備事業（小・中学校パソコン

及び無線LAN等の整備）

生活環境の整備

筑紫野・小郡・基山清掃施設（クリーンヒル宝満）

建設関連負担金（写真2）

農業の振興

農地・水・環境保全向上対策負担金

ため池整備事業（大添ため池ほか）

競争力ある土地利用型農業育成事業費補助金

活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金

健康と福祉づくり

つどいの広場事業（写真3）

子育て家庭の親子交流の場所として

東野校区公民館内に、平成19年6月開設

高齢者の健康づくり支援事業

さきがけ教室（立石校区・三国校区）

公民館活動（古飯区・味坂校区）

商工関係

一店逸品運動推進事業

その他の事業

防犯対策事業（防犯パトロール車購入など）（写真4）

小坂井住宅建替事業

小郡市消防団第2分団消防ポンプ自動車買替事業



（写真1）立石小学校大規模改造事業



（写真2）クリーンヒル宝満



（写真3）つどいの広場事業



（写真4）防犯パトロール車

4 財政状況

市の貯金と借金

貯金 12億8,158万円

市民1人あたり 21,744円)

家庭の家計という貯金を「基金」といいます。基金は、特定の目的のために積み立てたり、定額の資金を運用するために設けられた資金です。

基金

(単位：千円)

基金名		平成19年度末
一般会計	財政調整基金	879,429
	減債基金	4
	公共施設等整備基金	67,458
	その他	203,269
特別会計	高額療養費支払資金貸付基金	4,000
	国保会計財政調整基金	1
	介護給付費準備基金	127,419
	合計	1,281,580

借金 350億5,549万9千円

市民1人あたり 594,776円)

道路や公園、学校施設などを整備するときに、市が借り入れた借金を「市債」といいます。市債は、世代間の負担の公平化を図る役割を持っています。

市債

(単位：千円)

会計名		平成19年度末
一般会計		22,347,806
特別会計	下水道事業	12,702,767
	住宅新築資金等貸付事業	4,926
合計		35,055,499

健全化判断比率

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、地方公共団体は、毎年度決算時に健全化判断比率および資金不足比率を算定することが義務付けられました。

健全化判断比率のいずれかが健全化基準以上の場合は、議会の議決を経て、財政健全化計画等を策定し、計画的に健全化に向けて取り組まなければなりません。

平成19年度決算に基づき算定された小郡市の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおり、すべて基準を下回っています。

財政健全化判断比率の状況

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小郡市			16.3%	152.2%
早期健全化基準	13.25%	18.25%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	

実質赤字額および連結実質赤字額がないため、実質赤字比率および連結実質赤字比率は、算定されません。

資金不足比率の状況

	実質赤字比率
下水道事業特別会計	
早期健全化基準	20.0%

資金不足額がないため、資金不足比率は算定されません。



健全化判断比率の用語解説

実質赤字比率.....実質赤字額（一般会計等）の標準財政規模に対する比率です。

連結実質赤字比率...連結実質赤字額（一般会計および特別会計）の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率.....標準財政規模に対する公債費や公債費に準ずる経費等（一部事務組合の公債費に対する負担金や公営企業の公債比に対する繰出金等）の占める割合の過去3年間の平均です。

将来負担比率.....公社や第3セクターなども加え、小郡市が将来的に負担する可能性がある負債の総額の標準財政規模（交付税算入分を除く）に対する比率です。

資金不足比率.....事業の規模に対する資金不足額の比率です。